

令和5年度（前期日程）

入学者選抜学力検査問題 英語 出題意図

I 【内容把握に関する択一式と記述式を組み合わせた英問英答問題】

神経心理学者 Mark Solms の著作より、社会的動物である人間にとっていかに遊びが重要であるかを論じた箇所を読み、要点を的確に把握できるかを問う問題群。著者は、遊びが、子どもたちにとって、社会の中で生き、社会を創る方法を学ぶための手段であることを、主に3つの観点から説明している。すなわち、子どもたちは遊びを通して社会的に許容されることの範囲を知り、社会的な階層構造を理解し、他人の感情を汲み取ることを学ぶという。ルールに基づいて行われる遊びの仮想的な（「ごっこ遊び」的な）性質によって、遊びが、一般的な思考の、そして現実に対するバーチャルな行動の、生物学的な基礎となる可能性さえあることを指摘している。受験者は、著者が述べる遊びの特徴と、なぜそれが重要なのかを把握し、英語で要約することが求められるとともに、択一式問題を通して、本文全体の趣旨が把握できているかどうか問われる。

II 【英文の内容を把握し、要点を日本語で答える記述式問題】

熱帯林に築かれた古代都市の特徴と現代への示唆を論じた新聞記事を読み、内容を把握できるかを問う問題群。著者は、その一例として古代マヤの都市を挙げ、それが農業を基盤として広範囲に分散して築かれていたため人口密度が低かったことや、「森の庭」と呼ばれる農耕方法がもたらす土壌の回復力によって極めて長期に亘って維持されていたことを指摘している。そして、このような熱帯林の古代都市の在り方は、環境保全と開発のバランスをとる必要に迫られている現代の都市計画にも示唆を与えるという。受験者は、現代西洋における「都市」の概念と熱帯林における古代都市の概念の相違や、古代マヤ文明の都市がいかに有機的に機能していたか、さらにそれが現代の都市計画に対して与える示唆についてなど、重要な論点について日本語で答えることが求められる。

III 【英語による論述問題】

与えられた命題に関する自らの考えを具体的な例や経験などで裏付けて正当化することを求める問題。便宜上、150語から200語程度で答えることが求められるが、重要なのは内容であり、所定の回答欄に記入できていれば、長さを過剰に気にする必要はない。

次の4つの観点で評価する。

- (1) 関連性：課題を達成するために、議論の展開をサポートする考えや例などを効果的に用いているか。

- (2) 論理構成：文をつなぐ語句を適切に使い、論理的に一貫性のある文章を構成できているか。
- (3) 語彙・文法：幅広い語彙や多様な文構造を用いて伝えるべき内容を適切に伝えられているか。
- (4) 全体構成：出題の意図を正しく理解した上で、まとまりのある構成で説得力のある文章が書けているか。